

2019 医療の未来予想図 ～世界の最先端は日本の辺縁にある～

●講演：須田 万勢（諏訪中央病院 総合診療科 [リウマチ膠原病内科医師] / 聖路加国際病院 [リウマチ膠原病センター医師]）

医師を志す皆さまに、医師11年目になった私がお伝えしたいことがあります。

一つは、医師になっていろいろ辛いことはあるけれど、やっぱり医師になってよかったということです。私の実際の仕事の一端をご紹介しますながら、いかに「医師」という資格を最大限に活かして人生をエンジョイするかをお見せします。

もう一つは、タイトルの通り、日本の辺縁で世界の医療の最先端が動いているということです。日本の地域医療は高齢化や人的・金銭的資源の減少など、世界の20年後の医療の縮図です。高度先進医療の発展の裏側で、米国を始め世界各国の医療が立ち行かなくなる時代に、日本から世界にどんな医療を発信すればいいのか。

私のホームグラウンドである、長野県茅野市、諏訪中央病院の秘策をご紹介します。

キーワードは、「養生」「統合医療」「弱者」「まちづくり」です。どうぞお楽しみに。



すだ ませい
須田 万勢

諏訪中央病院 総合診療科 / リウマチ膠原病内科医師、聖路加国際病院 リウマチ膠原病センター医師

1983年生。筑波大学附属駒場中・高等学校在学中の、中3から河合塾のK会に通塾。高校卒業時まで在籍し、現役で東京大学理科三類に合格。東京大学医学部医学科を7年間かけて卒業。在学中は河合塾のK会の講師も務める。

長野県諏訪中央病院での初期研修・家庭医療専門研修、聖路加国際病院 リウマチ膠原病センターフェロー・スタッフを経て、現在は諏訪中央病院 総合診療科 / リウマチ膠原病内科医師として勤務中。

諏訪中央病院
SUWA CENTRAL HOSPITAL

0266-72-1000 サイトマップ Guide PDF

ホーム 病院へ来られる方 診療科 入院・お見舞い あたたかな急性期病院 アクセス 患者サポートセンター（連携・相談）

赤ちゃんを産みたい 体の回復 リハビリ転院 がんを知る 治療する あたたかな ニュース 2019.05.10

急に体が痛い 体調が悪い 健康・人間ドック

病院紹介 医師求人情報

「諏訪中央病院」HPより <http://www.suwachuo.jp/> 2019/5/10

■諏訪中央病院
長野県茅野市にある医療機関。正式名称は組合立諏訪中央病院。茅野市、諏訪市、原村の3自治体が構成する「諏訪中央病院組合」が運営する。茅野市の小高い丘の上に立つこの病院はかつて院長であった今井澄、鎌田寛らの活躍により全国区の知名度を持ち、日本各地から研修医が訪れるという。

「諏訪中央病院」フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』より
最終更新 2018年11月15日（木）11:21 UTC <https://ja.wikipedia.org/wiki/諏訪中央病院>

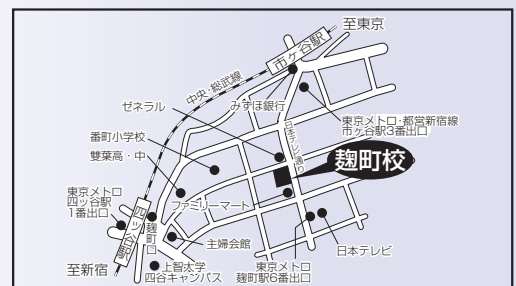
7月26日(金) 18:00～19:30

翹町校 8階デルファイホール



入場無料
申込不要

〒102-0085 千代田区六番町 1-3 ☎0120-192-599
●JR 総武線・東京メトロ有楽町線・南北線・都営新宿線 市ヶ谷駅下車 3番出口徒歩 3分
●JR 中央線・総武線 四ツ谷駅下車 翹町口徒歩 5分
●東京メトロ丸ノ内線・南北線 四ツ谷駅下車 1番出口徒歩 6分
●東京メトロ有楽町線 翹町駅下車 6番出口徒歩 2分



※どなたでも自由に参加できます。